



研究室紹介

海洋水産学科は、2分野 4研究室に分かれます。

水圏フードシステム分野



水産増殖学 研究室

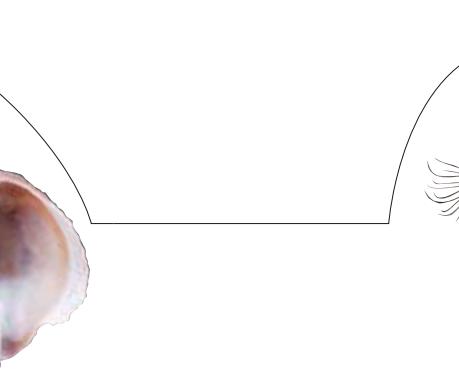
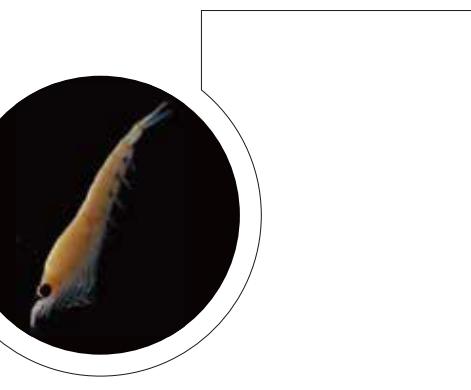


水圏 生産科学 研究室



持続可能な次世代養殖技術の開発

国際連合食糧農業機関は、世界の人口が2050年までに90億人を超えると予想している。人口増加が避けられない中でも動物性タンパク質の安定供給が望まれるが、天然海域における水産資源の開発が進んでおり、新たな資源の発見や利用が難しいのが現状である。具体的には、オホーツクで増殖の行われている魚種を対象に、より効率よく、より自然に調和した増殖の道を探る。そのためにこの研究室は、いまだ未解明の多い対象魚種の生態の解明と増殖水域の環境の保全に関する研究を大きなテーマとし、海や川へ出てのフィールドワーク、実験室内での飼育や培養、顕微鏡下での観察など幅広いアプローチから研究を行っている。また、自然と調和した新たな増殖対象種の可能性についても検討していく。



水圏共生分野



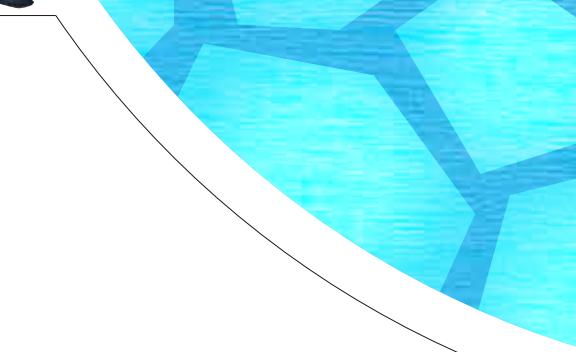
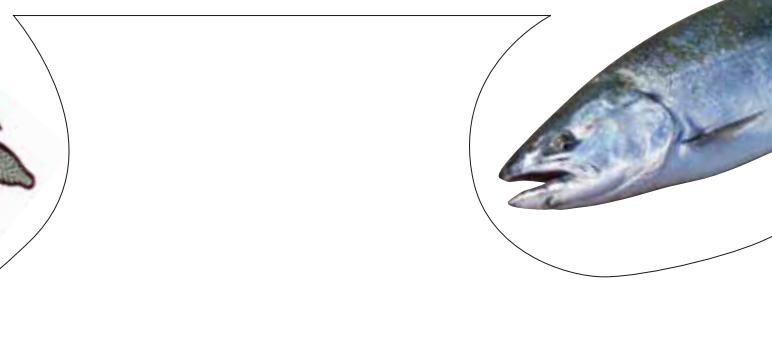
水圏生態学 研究室



海洋生物学 研究室

オホーツク海の豊かさを支えている 仕組みを解明する

豊かな海と言われるオホーツク海であるが、豊かさを支えている生態系や環境の仕組みは未だ謎のまま。またオホーツク海は北半球で海が凍る南限であり、我が国において地球温暖化の最前線とも言われている。この豊かな海からの恵みを今後も保持するために、これら仕組みの解明は差し迫った課題である。当研究室では、地の利を活かし北海道オホーツク沿岸域を中心として、生物学的、化学的、物理的な視点から豊かさを支えている仕組みを解明し、地球温暖化などの環境変化が生態系に及ぼす影響を評価していく。



ここにしかない海がある。ここでしかできない研究がある。

海洋水産学科のご案内

東京農業大学 北海道オホーツクキャンパス
生物産業学部 海洋水産学科
〒099-2493 北海道網走市八坂196番地

ACCESS

女満別空港まで 札幌から 45分
東京から100分
名古屋から110分
網走駅よりバスで30分
女満別空港より車で20分

東京農業大学北海道オホーツクキャンパス 入学センター
TEL 0152-48-3814 FAX 0152-48-2246
E-mail nyushi01@nodai.ac.jp

学科ホームページ 学科インスタグラム

東京農業大学
生物産業学部 海洋水産学科

流氷がくる海・知床の豊かな自然・海生哺乳類の宝庫

海洋水産学科で“実学”する4年間!!

1年次

オホーツクを五感で感じ、
実体験し、基礎を学ぶ
野外で学ぶ実習の多さが特徴です。
講義では基礎科目を学び、2年生からの専門科目に備えます。
北の大地で新しい人生が始まる1年です。

2年次

オホーツクの生活を満喫しながら、
海洋水産の専門科目を学ぶ
2年生になると、海洋水産学科ならではの専門科目を学び、
実験や実習では高度な技術を身につけます。
この頃には大自然の中で学生生活を存分に楽しんでいることでしょう。

3年次

研究室に所属して、専門性を高めます
本学科では3年生から研究室に所属します。研究室単位の
実験・実習を通して、より専門的な知識と技術を身につけます。
本当に学びたいことを深く学び始める学年です。

4年次

4年間の集大成
進路を決め、卒業論文をまとめます
就職や大学院進学など卒業後の進路を決めるときに、
卒業論文を書くための調査・実験を行います。真理を探求しつつ、
苦労と喜びを仲間と分かち合う大切な1年です。

授業例-1
●情報基礎
研究に欠かせない
データサイエンスの
基礎について学びます。

授業例-2
●水圈増養殖学
国内外における最新の
水産増殖・養殖の
知識について学びます。

授業例-3
●野外調査学
野外における調査計画の
立て方、方法について
海の生き物の具体的な
例に沿って学びます。

入学式
ワクワクドキドキ…緊張の
中で、理事長や学長による
祝辞を通して、農大の歴史
を感じる時間です。貴方も
農大生の仲間入り。

学外オリエンテーション
新生活の不安を取り払うべく、履
修方法から日常生活のポイントを
学び、新しい仲間を作るチャンスで
す。農大名物、“大根踊り”も学び
ます!

オホーツク臨海実習
オホーツクならではのユニークな実習
です。たとえば、実際にアザラシに
触れての生体観察、サケ科魚類の
人工授精、乗船しての海洋観測、
広大な機での生物観察などを行
います。

海洋水産
基礎実験
研究室に所属する前に
実験の基礎を身につけます。

授業例-1
●魚類学
魚類研究の基礎になる分類、
形態、進化、生理、生態など
について学びます。

授業例-2
●水圈無脊椎動物学
水圈動物が地球の歴史の
中でいかに多様化してきた
のか、その進化プロセス
を学びます。

授業例-3
●プランクトン学
プランクトンとはどのような
生き物なのか、海洋生態系
におけるプランクトンの役割
などについて学びます。

釣り好きには
たまらない
自然環境

オホーツクの四季を生きたクラブ・サークルが満載
クラブ・サークル紹介

農友会オホーツク支部団体
リーダー部 吹奏楽部 チアリーダー部

同好会
合気道同好会／クラミング・山岳サークル／水泳同好会／
Soul-BEAT／馬術同好会／バーベルクラブ

文化系
北の食料理研究会／軽音楽同好会／写真サークル／
植物抽出同好会「ひとしづく」／節足動物同好会／乳製品
研究会／農大ソングフォースタ／フレーバーフレグランス同好会
／未来農研究会／野鳥研究会

収穫祭

やはり気になる！
就職DATA

進路状況 *2022年度の実績
卒業後の進路 就職 86.6%
その他 7.3%

就職先の例
水産関連企業・サービス
全国漁業協同組合連合会、北海道漁業連合組合連合会、漁業同組合常呂、別海など、あん��ズロー、
北海エビアーリング、角上鮭ホールディングス、久又良品、三洋テクノハリ、太鮭魚類、東洋水産、東洋冷蔵、ニチモフーズ、北海道農林畜産振興局、ヤマーハ造船システム、横浜魚類、横浜冷凍

資格取得
教員
教員課程を履修し、所定の科目を修得
して、卒業すれば教員できる資格
●高等学校教諭一種・理科
●中学校教諭一種・理科

資格
所定の科目を修得し、卒業できれば
取得できる資格
●学芸員

大学院情報
●大学院
生物産業学研究科
(修士課程・博士課程)

授業例-1
●水資源学
海藻から魚類までの水産
資源の生産・管理・生態系
保全などについて学びます。

授業例-2
●水海の生態学
凍る海、オホーツクならでは
の海の生態系、海の豊かさ
の源について学びます。

授業例-3
●海洋水産演習
研究室単位の専門的なゼミや
実習です。内容は研究室ごと
に異なり、自分の知りたいこと、
やりたいことを深めています。

オホーツクならではの
ユニークな
アルバイトを
紹介します。

オホーツク
ホタテバイ
農家バイ
くじらの
解体バイ

ホタテガイの稚貝を
海に撒く作業を手伝
います。出港が早
いので、バイトは講
義前に終わります。

ホタテガイの稚貝を
ビートの植え付けや
ダイコン・カボチャ・
長いものなどの収穫
などを手伝います。

調査捕鯨されたク
ジラの解体を手伝
います。真夜中か
ら作業が始まること
も多いです。

卒業式
模擬店、文化展、ステージ企画などが行われる
大学祭のこと。来場者が1万人を超えるビッグ
イベントです。

卒業後
就職
86.6%

その他
7.3%

卒業後
進路
就職 86.6%

その他
7.3%

卒業後
進路
就職 86.6%

その他
7.3%

卒論テーマの例
水圈フードシステム分野
●三倍体ドジョウの不妊回避機構に関する研究
●能取湖におけるマガキ養殖技術の開発
●種二倍体が形成する配子の倍数性と
ゲノム構成に関する研究
●網走海域を利用する鰐類を頂点とする生態系に関する研究
●ニジマスの海水制限に関する基礎的研究
●モクズガニの生殖に及ぼす物理環境の影響

●トミヨの性フェロモン物質の検索
●ヒマラヤマツメの性別判別の研究
●人工星ドローンを用いた、オホーツク海沿岸環境のモニタリング
●網走湖におけるアイスアルジー、植物プランクトンの一次生産力に
関する研究
●コマツアザラシセニカタアザラシの生態に関する研究
●紅藻スバリノリ葉状体の温度応答能

●紅藻スバリノリ葉状体の誘引活性の検証
●サクラマスの性フェロモン類縁体の誘引活性に関する研究

●オキアミ類やアミ類の生態に関する研究

●川に逆上するカラフトマス

●ミズナギドリとミンクジラ

●川に逆上するカラフトマス

●ミズナギドリとミンクジラ

●川に逆上するカラフトマス

●ミズナギドリとミンクジラ

●川に逆上するカラフトマス

●ミズナギドリとミンクジラ

●川に逆上するカラフトマス

●ミズナギドリとミンクジラ

●川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク海の流氷
春 ミズナギドリとミンクジラ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク海の流氷
春 ミズナギドリとミンクジラ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク海の流氷
春 ミズナギドリとミンクジラ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク海の流氷
春 ミズナギドリとミンクジラ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク海の流氷
春 ミズナギドリとミンクジラ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク海の流氷
春 ミズナギドリとミンクジラ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

夏 知床の豊かな海藻
秋 川に逆上するカラフトマス

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ

冬 オホーツク半島のソクジラ
冬 流氷上で休息するコマツアザラシ